

■効果の見える治水事業

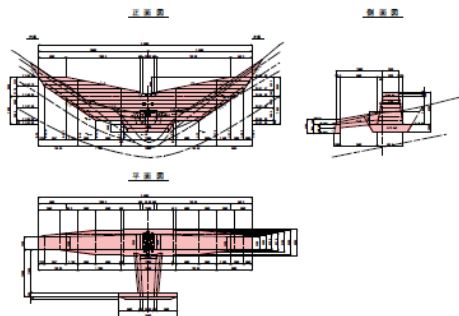
香川県 中西東川(さぬき市小田)の砂防事業

『中西東川 通常砂防工事』

香川県長尾土木事務所長 樋口 晋



事業箇所 さぬき市小田
 事業期間 平成21年度～平成24年度
 全体事業費 122百万円
 事業計画 砂防堰堤1基
 堤高 7.0m
 堤長 54.5m
 堤体積 1,635m³
 貯砂量 4,269m³
 流域面積 0.05km²



本溪流は、瀬戸内海に流れ込む、流域面積0.05km²、平均溪床勾配1/5の土石流危険溪流であり、下流には災害時の避難所となる小田小学校、さぬき市小田出張所をはじめ、災害時要援護者施設の小田幼稚園、および人家106戸が存在しています。

当流域では、平成16年10月の台風23号などの影響で山腹崩壊や溪岸浸食が発生したほか、流域内に不安定土砂が堆積しており、降雨により更なる土石流災害の恐れがあることから、土砂災害の発生を未然に防止し、住民の方々の生命財産を守るため、砂防堰堤の建設を計画しました。

当事業は、平成21年度に事業着手し、地元住民の皆様のご協力のもと、平成24年度に完成しました。



保全対象集落と小田小学校



平成25年4月時点

暮らしを支える安心・快適なまちづくり

さぬき市長
 大山 茂樹



沿岸部に低い土地を抱えるさぬき市では、毎年のように襲来する台風に対し、内水の排除が課題になっています。満潮と台風接近の時間帯が重なると河川水位が上昇し内水が海に流れず、度々床下、床上浸水の被害をもたらしてきました。このような被害を軽減するため、昨年度、梅川雨水排水ポンプ場(津田地区・総事業費約3億4千万円)を改修、自家発電設備を備えた口径800mmの水中ポンプを2基増設し排水能力を2倍にする事業を実施しました。また、平成27年度の完成を目指し、毎秒3.8m³の排水量を有する浦小田雨水排水ポンプ場(小田地区・総事業費約8億1千万円)の建設に着手しています。

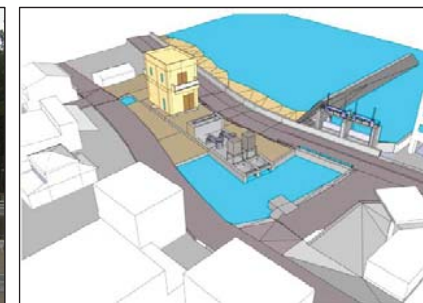
ソフト面においては、香川県の公表した津波被害想定に基づき津波の浸水区域を表示した洪水ハザードマップを作成し全戸配布したほか、市内の沿岸部に海拔表示板を設置するなどの事業を実施してきました。

そして、近い将来高い確率で発生が予想されている南海トラフでの巨大地震などの多様な自然災害に備える体制づくりを推進するため、総務部総務課内に危機管理室を設置し、災害対策基本法の改正に伴う指定緊急避難場所等の選定や避難行動要支援者名簿の整備、これに伴う災害時に支援が必要な要配慮者に対する個別の計画策定などに着手することとしています。

また、地域の自主防災活動の活性化をはかるための支援事業や防災訓練の支援を継続して進めるとともに、防災研修会などを開催し、「自分の命は自分で守る、地域はみんなで支える」という自助、共助の啓発に努め、安心・快適なまちづくりを実現していきます。



増設された梅川雨水排水ポンプ場



新たに建設される浦小田雨水排水ポンプ場



さぬき市津波ハザードマップ



海拔表示板